

カクチョウラン

ぜつめつ きく
絶滅危惧Ⅱ

学名	Phaius tancarvilleae
科名	ラン
別名	カクラン
区分	そうほんるい 草本類
分布	かごしま たねがしま やくしまいなん 鹿児島（種子島、屋久島以南）、 おきなわ たいわんとう 沖縄、台湾等



葉の形	ちようだえんけい 長楕円形
葉の縁	ぜんえん 全縁
葉の先	えいせんけい 鋭尖形
葉の種類	
葉の付方	そくせい 束生
葉の基部	
実の種類	さくか 蒴果
花・萼色	しろいろ うちがわ せきかつしよく 白色で内側は赤褐色

せつ
説
めい
明

さんち あち りんどうそ じょうりよくこうようじゅりん した は
山地の荒れ地や林道沿いの常緑広葉樹林の下に生
え、高さ 60-120 cm の多年生の草本です。葉は厚く革
質、2枚から3枚で長さ 70 cm 程度です。花は総状花序
で茎の高さは 60-70 cm、外側が白く、内側は赤褐色を
しています。